

第7回 練馬区区民協働推進会議 議事概要

《日時・場所》

- 1 日時 平成 23 年 11 月 22 日 午後 6 時～午後 8 時
- 2 場所 練馬区役所本庁舎 5 階 庁議室

《次第》

- 1 開会
- 2 案件
 - (1) 平成 23 年度練馬区協働事業提案制度（平成 24 年度実施事業）の進捗状況について
 - (2) 協働事業提案制度 平成 23 年度実施事業の中間評価（確認）について
- 3 資料
 - (1) 平成 23 年度練馬区協働事業提案制度（平成 24 年度実施事業）一次審査通過事業一覧 … 資料 1
 - (2) 協働事業提案制度 平成 23 年度実施事業の中間評価シート等 … 資料 2
- 4 その他

《出席者》

大垣喜久江委員、小室裕一委員、佐藤勝彦委員、杉田憲弘委員、平修久委員、高橋司郎委員、瀧澤利行委員、犬塚隆委員（区民生活事業本部長）、宮下泰昌委員（産業地域振興部長）

（事務局）地域振興課職員 6 名

（傍聴者）なし

1 開会

座長

- ・第7回練馬区区民協働推進会議を開催する。
- ・案件に入る前に、第6回会議の議事について、概要をまとめたものを議事概要案としてお配りしている。加筆、修正等があればお出しいただきたい。
- 意見なし
- ・今後、練馬区ホームページで公開していく。

2 案件

(1) 平成23年度練馬区協働事業提案制度(平成24年度実施事業)の進捗状況について

座長

- ・平成23年度練馬区協働事業提案制度(平成24年度実施事業)の進捗状況について、事務局より説明をお願いする。

事務局

- 資料1を説明

座長

- ・質問、意見はあるか。
- 意見なし

(2) 協働事業提案制度 平成23年度実施事業の中間評価(確認)について

座長

- ・協働事業提案制度 平成23年度実施事業の中間評価(確認)について、事務局より説明をお願いする。

事務局

- 資料2を説明。進め方について確認する。

座長

- ・8事業について、事業ごとに説明した後、質問、意見を伺うこととする。
- ・まず、「外国人区民と日本人区民の相互理解のための交流事業」について、説明をお願いする。

事務局

- 外国人区民と日本人区民の相互理解のための交流事業
協働事業中間評価(確認)シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

- ・質問、意見はあるか。

委員

- ・ 2回実施されたセミナーの参加者の属性、年齢層等がわかれば教えて欲しい。

事務局

- ・ 国籍や年齢層は確認していない。記録写真を見る限りでは、幅広い年齢層の方たちが参加されているようである。

委員

- ・ 区の催し物を行うときは、区内在住、在学、在勤の方を対象とすると思うが、資料の中の事業のチラシを見ると、事業の対象者が区民だけとなっている。この事業に限らず、このような事業を実施する場合には、基本として区在住、在学、在勤の方を対象とすることをアドバイスした方が良い。

座長

- ・ 他に質問、意見はあるか。

委員

- ・ 外国人との交流は本当に難しい。この記録写真を見ても色々な年齢層の方が見受けられる。71万練馬区民のうち外国人登録をされている方は1万3千人いる。そういう中であって、日本人、外国人どちらにも声を掛けていくとしても、まず言葉の問題から始まってしまう。例えば、韓国の方を対象にして、ハングル語で話すと日本人に対して通訳が必要になる。少なくとも通訳なしでハングル語を理解できる人は、限られてしまう。また、1万3千人のうち、中国、韓国などアジア圏の方が8割以上となっている。それ以外は、アメリカ、ヨーロッパ圏である。外国人の比率が増加傾向にある中で、この団体の活動を長い目で温かく見守っていきたい。

座長

- ・ 他に質問、意見はあるか。

委員

- ・ この団体は、まちづくりセンターからの助成金を活用して、事業を行っているようである。その事業の内容について確認しているか。

事務局

- ・ この団体が、まちづくりセンターから助成金を受けて行っている事業は、震災のときに外国人の方にどのように情報を届けるかという事業である。外国人の方が集まる場所、例えば、外国人が経営している料理店などを情報拠点として設定し、当団体が、その場所と区や関係機関の間に立って、外国人の方へ情報を提供していくという事業である。

座長

- ・ 他に質問、意見はあるか。

委員

- ・ アンケート調査を行うことは重要だが、日本人、外国人を問わず、来た方全員をお客様扱いにするのではなく、活動に巻き込むことを考えながら実施した方が良いと思う。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。
- 意見なし

座長

- ・次に「認知症介護家族による「介護の悩み相談」」について、説明をお願いします。

事務局

認知症介護家族による「介護の悩み相談」

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

- ・質問、意見はあるか。

委員

- ・今年度の協働事業提案制度において、来年度も継続したいということで、事業提案があった事業である。先日の一次審査の意見を伝えた結果として、中間報告書が作成されている。協働事業企画提案書もこのように丁寧に説明をして欲しかった。今回の報告書で理解が深まって良かったと思う。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・認知症の問題は大きな問題であり、大いに取り組んでもらいたい。公共機関等で認知症に関するチラシ等を多く見かけるようになった。ただ、認知症に関するチラシが善意のものであれば良いが、悪意を持ったものが配られた場合、各家庭でそれが見分けられるかどうか懸念される。認知症を抱えている家族は、非情に深刻な状況に置かれていると思うので、区には、認知症に対して活動が悪用された場合も想定し、即座に対応できる体制について考えてもらいたい。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。
- 意見なし

座長

- ・次に「高齢者への配食サービスと困りごとの聞き取りおよび助け合いのネットワークづくり」について、説明をお願いします。

事務局

高齢者への配食サービスと困りごとの聞き取りおよび助け合いのネットワークづくり

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

- ・質問、意見はあるか。

委員

- ・福祉部経営課の事業の一環で、この団体の施設を見学できる機会があったので、その際に団体の方に色々と話を伺った。10月は、配食が300食を超えていた。食材費の割合が50%を超えていること、ボランティアの方は自前の車を使って配達をしていること、遠い大泉地区にまで、配達範囲が広がっていることが課題となっているようである。また、困りごとの聞き取りで多いのが「ごみ出し」で、次いで「ポストへの投函」となっているようである。実際に施設見学に行き、充実した活動をしていると感じた。栄養バランスも考えられており、ご飯の量・硬さ、食べられないものなど、個別の要望にも対応していた。活動に対する熱意が強く感じられ、この団体に対する評価が高まった。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・苦勞されているが、着実に利用者を増やしている団体である。配食サービスについては、一般企業が力を入れており、新聞の折込チラシでもよく見かける。今後、配達をする際、そこでしっかりとした会話ができるかが重要だと思われる。一般企業は利益追求のあまり、しっかりとした会話はできていないと思われる。
- ・また、光が丘地域よりも、その周辺の地域で利用者が増えているのは、一般企業の配食サービスの影響もあると同時に、光が丘にあるスーパー等で弁当が安価で販売されているため、光が丘地域の方がこの団体の配食サービスを利用することが、少ないからではないかと思われる。この団体の事業を周知すればするほど、むしろ、周辺地域からの要望が増えていくと思われる。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・身内の都合で一般企業の配食サービスを利用したことがあるが、しばらくすると飽きてしまった。ボリュームがあるので、1回では食べ切れず、昼と夜に分けて食べていた。
- ・この団体は今年度の募集で継続提案をしていない。課題となっている配達などについては、例えば、配達の際のボランティアの保険を行政側が支援するなど、何らかの支援を検討して欲しい。

事務局

- ・この団体は、様々な事業展開している。この事業は、自立採算が可能な事業であると思う。課題について確認しながら、できる支援を検討していく。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。
- 意見なし

座長

- ・次に「ねりま子育て情報誌 2012 の作成事業」について、説明をお願いします。

事務局

ねりま子育て情報誌 2012 の作成事業

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

- ・質問、意見はあるか。

委員

- ・別の自治体の話であるが、冊子作成の最終段階で行政側が色々と意見を言ったことにより、団体側の満足感が得られなかったということがあった。そのようなことが無いようにお願いしたい。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・当初の計画より、冊子のページ数が 24 ページから 48 ページ、発行部数が 6,000 部から 24,000 部になっている。団体の実力、意欲の高さがうかがえる。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

- 意見なし

座長

- ・次に「親子ひろば「Loveピースclub」」について、説明をお願いします。

事務局

親子ひろば「Loveピースclub」

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

委員

- ・利用状況について、年齢層の把握ができると良い。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・月別の利用者数に差がある。何か特別な理由などがあったのか。

事務局

- ・団体からは、震災の影響で 4 月、5 月は、外出しながらいない方が多かったため、利用者が少なく、その反動で 6 月の利用者が多かったのではないかと聞いている。また現在は、1 回 8 組程度で落ち着いているようである。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・今年度の提案制度で、次年度は場所を増やして事業を行う内容の継続提案をしている。現在の取り組みの中で、場所を増やす根拠は何か。

事務局

- ・団体からは、現在開設している場所は、向山であり、区の東地域であることから、東地域の利用者が多い。同じような課題が区内全域にもあることが推察されるため、来年度は、西地域でも開室する予定であると聞いている。

委員

- ・中間評価（確認）シートの中の「区の紹介により」というのは、区の担当課からなのか。また、保健相談所の感想も教えて欲しい。

事務局

- ・保健相談所から紹介として、区の保健師と一緒に会場に行って利用を促している。区側も、紹介できる場所、人とつながる場所があることで効果を感じている。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。
- 意見なし

座長

- ・次に「子育てひろばスタッフ等研修事業」について、説明をお願いします。

事務局

子育てひろばスタッフ等研修事業

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

- ・質問、意見はあるか。

委員

- ・講座等が早くて9月の実施だが、当初の計画どおりであるか。

事務局

- ・当初の計画では、区内5か所の「子育てひろば」を会場として、そこで働くスタッフを対象に講座を実施する予定であった。しかし、現場のスタッフからは、子どもの面倒を見ている中で、受講することはできないとの意見があった。こうした意見を踏まえ、事業関係課と調整を行ったため、実施時期が9月となった。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・中間評価（確認）シートの中に、体験学習での評価が高かったとの記載がある。講演会は聞いた時は理解できるが、なかなか自分自身に取り入れることが難しい場合が多い。一方、体験学習は、身につく可能性が高いと思う。体験学習を重点に取り組んでもらい

たい。

座長

・他に質問、意見はあるか。

- 意見なし

座長

・次に「防災の普及・啓発につながるパンフレットの発行」について、説明をお願いします。

事務局

防災の普及・啓発につながるパンフレットの発行

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

・質問、意見はあるか。

委員

・作成した「災害に強い町づくり・人づくり みんなが集まる防災訓練」が事業成果と思われるが、事業関係課はどのような評価をしているか。

事務局

・この団体と防災課で一緒に作成し、防災課職員も苦労したと聞いている。パンフレットは、これから配布するので、今後の啓発活動に生かしていきたいと言っていた。

座長

・他に質問、意見はあるか。

委員

・手作り感があって良いが、レイアウトや写真など、もう少し工夫ができたと思われる。

座長

・他に質問、意見はあるか。

委員

・行政などからは、非常に多くの防災関係のパンフレットやチラシなどが発行されている。今求められているのは、Yシャツのポケットに入るもので、広げると新聞紙の半分程度の大きさになるものである。今回の出来上がったものを見ると、簡潔にまとめられており、町会らしさが出ていると思った。これであれば、多くの地域の住民も見てくれると思う。

・講演会や子ども縁日など、この町会が大事にしている事業が掲載されていると思われる。行政などが作成している防災関係の冊子は、災害への備えから災害が発生した際の対応まで記載されており、どうしてもページ数が増えてしまう。結果的にあまり読まれないものになる。

座長

・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・この町会は、350 世帯とあまり大きくない町会である。会長の人望が厚く、役員などが一つにまとまっていると聞いている。この冊子も、そうした日頃からのまとまりある組織の成果があったのではないかと思われる。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・パンフレットの最後のページに、企業名が掲載されている。防災釜の製造業者であると思うが、特殊な機材ではないのであれば、無くても良かった。
- ・また、このパンフレットの著作権はどうなっているのか。

事務局

- ・著作権は、町会と練馬区が持っている。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

- 意見なし

座長

- ・最後に「防災協定締結自治体との住民同士の連携・交流事業」について、説明をお願いします。

事務局

防災協定締結自治体との住民同士の連携・交流事業

協働事業中間評価（確認）シートの実施内容・結果を中心に説明。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・前橋市の岩神に住んでいたことがある。岩神の位置としては利根川の近くであるため、岩神町会も課題はあると思う。前橋市にも多くの町会のある中で、岩神四丁目町会と連携・交流をしようとするようになったのは、何故か。今後、色々な自治体の住民組織と連携・交流を進めていく際に参考になると思うので、教えて欲しい。
- ・また、光連協と岩神四丁目町会とは町会の規模の違いが大きい。相手方の町会とバランスを取るのに、ご苦労があったのではないか。

委員

- ・相手方が岩神四丁目町会となったのは、前橋市からの紹介である。
- ・前橋市は、水害以外では災害のない町である。前橋市での防災訓練は3年ぶりで、今回のような大規模訓練は、30年ぶりとのことであった。そうした状況もあったため、光連協側がとしては、当初100人程度が事業に参加することを想定していたが、岩神四丁目町会の人数に合わせ、25人ほどで合同防災訓練に参加し、その後の意見交換、交流など

を行った。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・前橋市は、色々な自治体と協定を締結しているようである。今後、どのように防災協定を交わした自治体と取り組みを進めていくか注視したい。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

- 意見なし

座長

- ・全体を通しての質問、意見はあるか。

委員

- ・各団体と協働に関する協定が締結されたと思う。防災課関連は、震災の関係で遅れたとのことだったが、それ以外の事業で協定を締結するに当たり問題等は無かったか。

事務局

- ・防災関係を除いた場合、「子育てひろばスタッフ等研修事業」において、当初の計画では、実施団体側の都合で事業を実施していく予定であったが、受講する側との意見が合わず、協定を締結する前に、現場に行って協議をした。その結果、協定の締結が6月になった。これ以外の団体とは順調で、事業関係課との協議も問題無く、ほぼ順調に協定の締結ができた。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・「高齢者への配食サービスと困りごとの聞き取りおよび助け合いのネットワークづくり」の中間評価（確認）シートに実施体制として民生委員が含まれている。民生委員が直接事業参加することは問題ないのか。

委員

- ・民生・児童委員の立場ではなく、地域の福祉活動の一員として活動しているのではないのか。

委員

- ・民生・児童委員の立場ではなく、ボランティアとしての活動であれば問題ない。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

- 意見なし

3 その他

事務局

- ・平成 23 年度の協働事業提案制度の二次審査は、12 月 17 日（日）午前 10 時から午後 1 時区役所 7 階防災センターで開催する。
- ・第 8 回練馬区区民協働推進会議は、来年 2 月ぐらいを予定している。日程については、別途調整する。

座長

- ・本日の会議はこれで閉会する。